

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第42週の発生動向

### トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が2例あり、2021年の累積報告数は5,262例となった。

### 全数報告の感染症 (42週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。  
5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	70歳代	女	無症状病原体保有者	なし
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	80歳代	女	-	尿路感染症、菌血症
	破傷風	宮崎市	70歳代	女	-	筋肉のこばり、開口障害、嚥下障害、発語障害

### 新型インフルエンザ等感染症 (42週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	居住地保健所	年齢群	性別	症状等
新型コロナウイルス感染症	都城	20歳代	女	発熱、咳、全身倦怠感、頭痛、鼻汁、鼻閉、咽頭痛
	日向	10歳未満	男	発熱、嘔気・嘔吐、鼻汁

《前週との比較》

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は600人(定点当たり16.8)で、前週比99%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

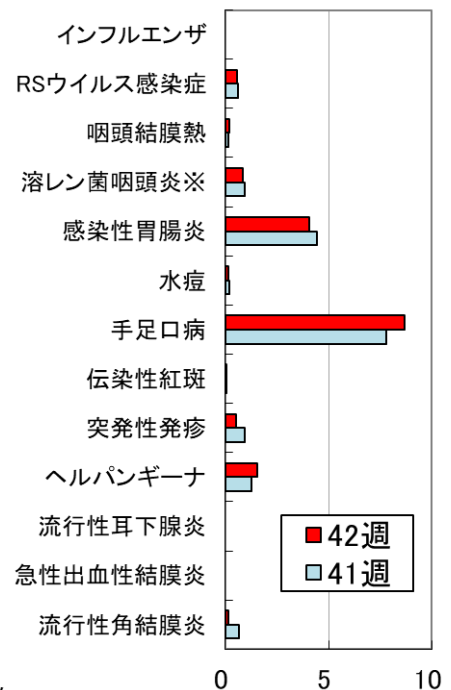
##### 【手足口病】

報告数は312人(8.7)で、前週比111%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.5)の約5.8倍であった。宮崎市(18.5)、日南(10.3)、中央(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

##### 【ヘルパンギーナ】

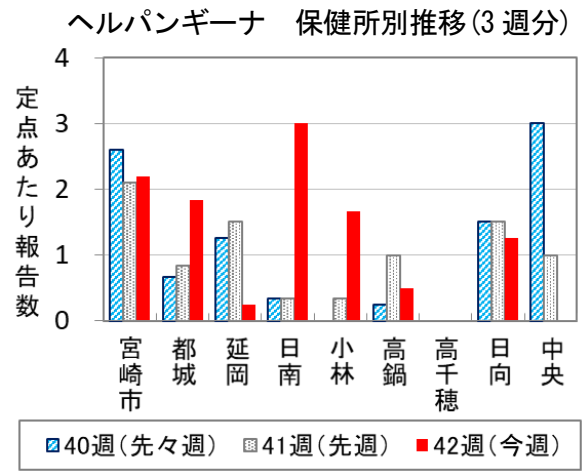
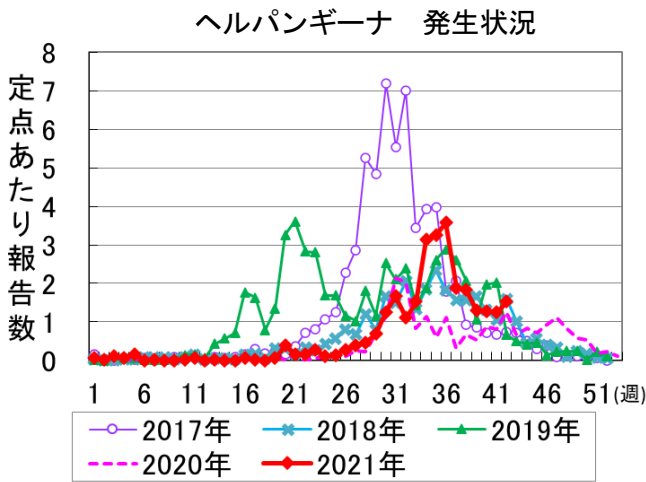
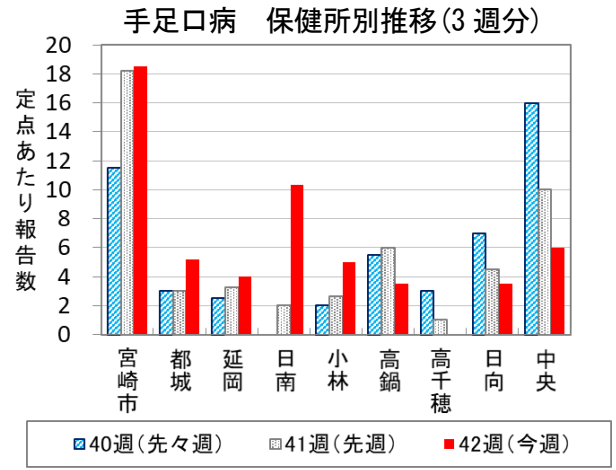
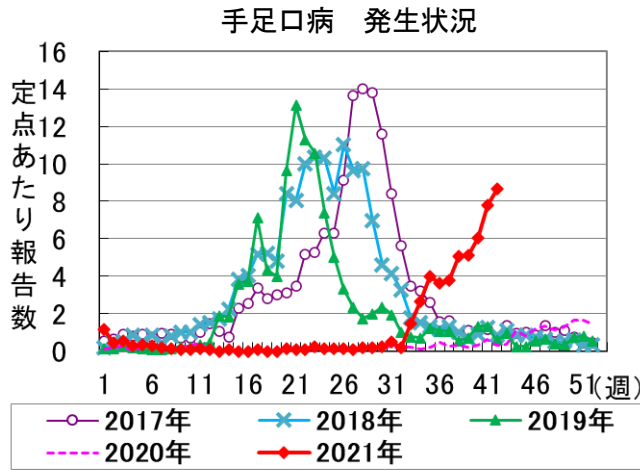
報告数は55人(1.5)で、前週比122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.9)の約1.6倍であった。日南(3.0)、宮崎市(2.2)、都城(1.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(18.5)
都城	手足口病(5.2)
延岡	なし
日南	手足口病(10.3)
小林	手足口病(5.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(6.0)、水痘(1.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

・手足口病(5)

\* 流行注意報レベル基準値\*

・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年10月25日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	5～9歳	男	2021.9.14	発熱(37.7℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.9.28
Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	10歳代	女	2021.9.16	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.9.28
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	5～9歳	女	2021.9.17	発熱(38.7℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.9.29
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	5～9歳	男	2021.9.21	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.9.30

○5～10代前半の4名からサルモネラ属菌が検出された。サルモネラ属菌によって起こるサルモネラ症の主な症状は腹痛、下痢、発熱であり、下痢は水様性から血便や粘血便を呈することもある。経過は一般に短く、主な症状は1～2日でおさまり、1週間ほどで回復するが小児や高齢者では重症化しやすく、回復も遅れる傾向があるので注意が必要である。サルモネラ症の予防には、原因食品、特に食肉及び鶏卵の低温保存管理、調理前後の汚染防止等の衛生管理が大切である。また、低年齢層ではペット等の動物からの接触感染にも注意が必要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
エコーウイルス6型	5～9歳	女	2021.07.07	無菌性髄膜炎、38.8℃、頸部硬直、嘔気・嘔吐	髄液	2021.10.15
エコーウイルス6型	0～4歳	男	2021.07.22	急性気管支炎、39.5℃	鼻汁	2021.10.15
エコーウイルス6型	5～9歳	男	2021.07.25	無菌性髄膜炎、38.9℃、頭痛、頸部硬直、嘔気・嘔吐	髄液	2021.10.20

○髄膜炎を呈する小児2名と呼吸器症状を呈する乳児1名からエコーウイルス6型が分離された。エンテロウイルスによる無菌性髄膜炎の症状は、発熱を主徴とし、頭痛、悪心・嘔吐を伴う場合があり、夏季を中心に流行する疾患であるが、秋～冬季にも発生が認められるため今後も注意が必要である。

🇯🇵 全国 2021 年第 41 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	279 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	90 例	腸チフス	1 例	
	E型肝炎	3 例	A型肝炎	1 例	エキノコックス症 1 例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱 20 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	50 例	
	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 39 例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 12 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症 7 例
	水痘（入院例）	4 例	梅毒	109 例	播種性クリプトコックス症 2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	21 例	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 107%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

手足口病の報告数は5,358人(1.7)で前週比112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.2)の約1.5倍であった。大分県(13.4)、福岡県、佐賀県(11.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は2,215人(0.71)で前週比116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.50)の約1.4倍であった。大分県(3.1)、鳥取県(2.8)、山口県(2.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第42週(10月18日～10月24日)

疾病名		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	22	21	1	14			5				1
	定点当り	0.61	0.58	0.10	2.33	0.00	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	6	7	4					1		1	1
	定点当り	0.17	0.19	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	33	31	3	1	1	22	1	2			1
	定点当り	0.92	0.86	0.30	0.17	0.25	7.33	0.33	0.50	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	159	147	30	49	3	7	25	5	4	17	7
	定点当り	4.42	4.08	3.00	8.17	0.75	2.33	8.33	1.25	4.00	4.25	7.00
水痘	報告数	7	6	2	2				1			1
	定点当り	0.19	0.17	0.20	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	280	312	185	31	16	31	15	14		14	6
	定点当り	7.78	8.67	18.50	5.17	4.00	10.33	5.00	3.50	0.00	3.50	6.00
伝染性紅斑	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	19	4	2	6	3	1	1		1	1
	定点当り	0.92	0.53	0.40	0.33	1.50	1.00	0.33	0.25	0.00	0.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	45	55	22	11	1	9	5	2		5	
	定点当り	1.25	1.53	2.20	1.83	0.25	3.00	1.67	0.50	0.00	1.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	1	1								
	定点当り	0.67	0.17	0.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～42週)

2類感染症	結核	106例(2)				
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	19例			
4類感染症	E型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病	15例
	日本紅斑熱	17例	レジオネラ症	8例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例(1)
	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	4例	梅毒	68例	播種性クリプトコックス症	4例
	破傷風	5例(1)	百日咳	2例		
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5262例(2)				

( )内は今週届出分、再掲